

令和7年度全国学力・学習状況調査 苫前町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:2校、児童数:19人 中学校数:1校、生徒数:17人

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

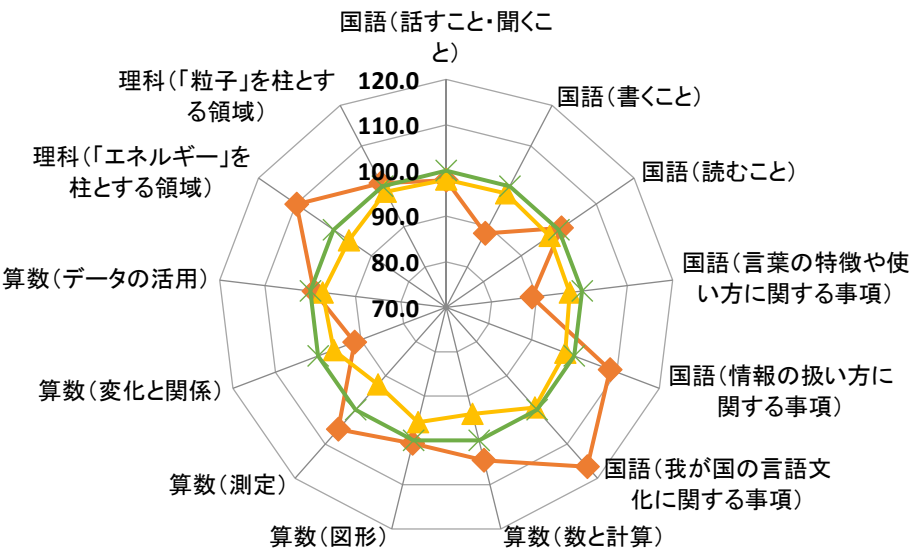
【平均正答率・平均IRTスコア】

※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
苫前町	65	60	59	61	42	503
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

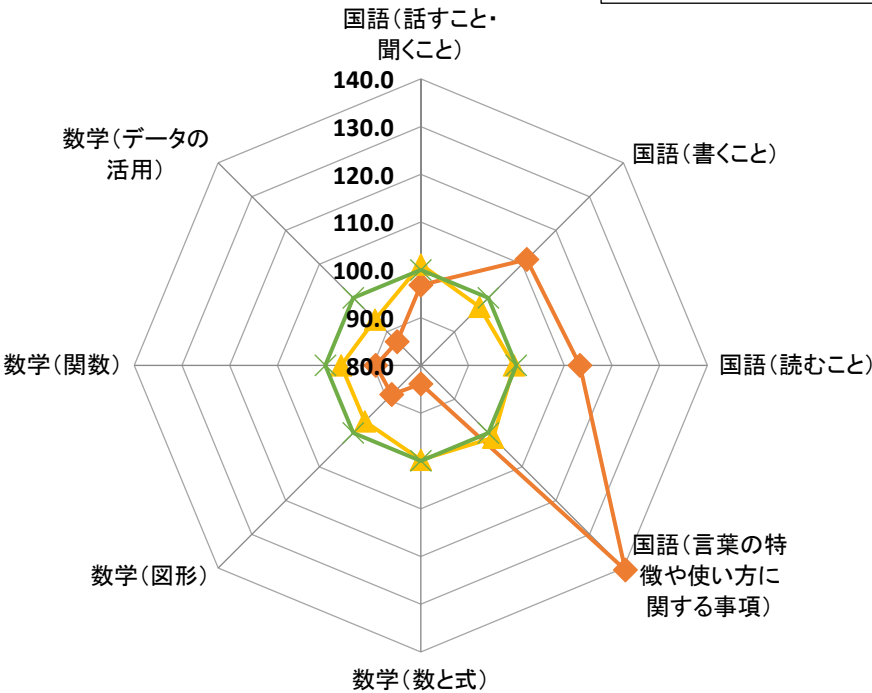
小学校

- 苫前町内小学校
- ▲ 北海道(公立)
- ✕ 全国(公立)



中学校

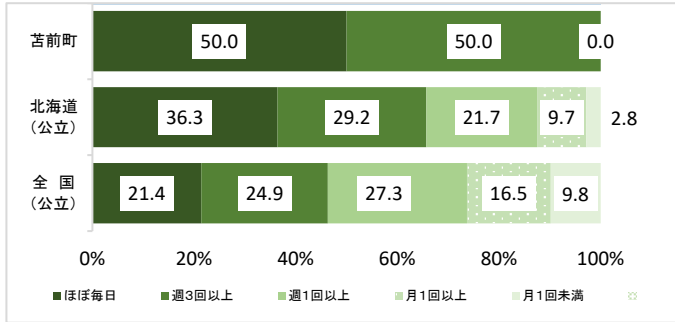
- 苫前町内中学校
- ▲ 北海道(公立)
- ✕ 全国(公立)



○ 質問調査の状況

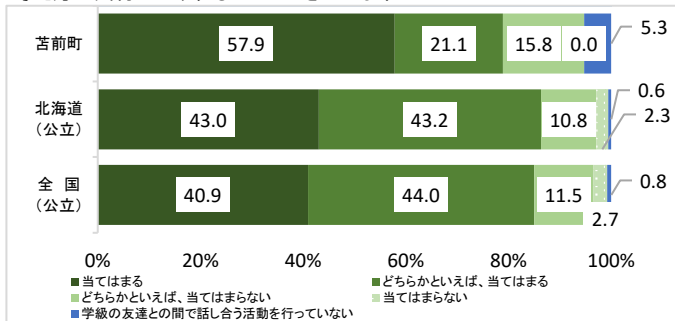
小学校 ＜学校質問＞

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



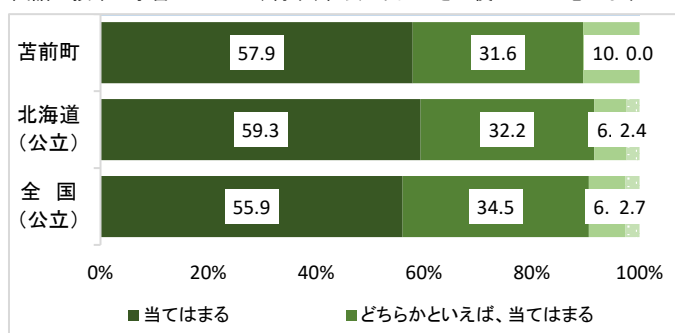
小学校 ＜児童質問＞

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



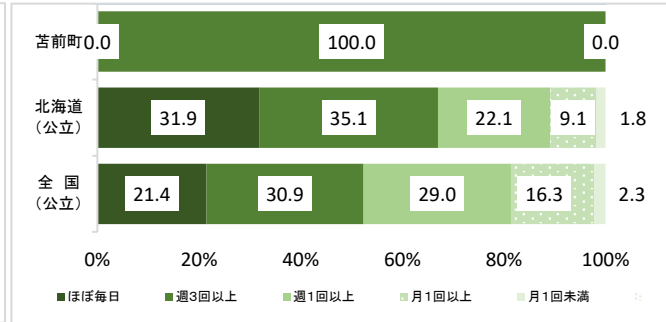
小学校 ＜児童生徒質問＞

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



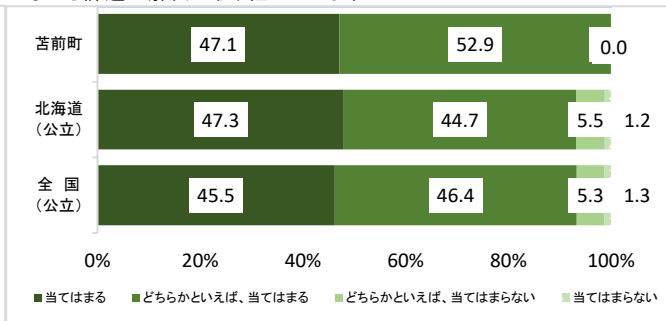
中学校 ＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

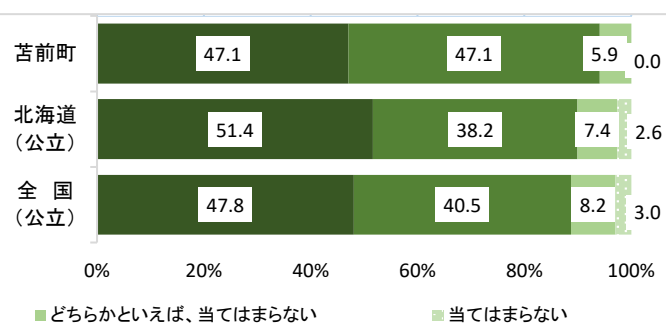


中学校 ＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校



○ 調査結果の分析

- ・ 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日、あるいは週3回以上使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した児童の割合が8割近くとなったと考えられる。
- ・ 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上活用したことにより、授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
- ・ 中学校国語の平均正答率は全国及び全道を上回っているが小学校国語の平均正答率は全国及び全道を下回っている状況は、小学校において国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した児童の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- ・ 児童生徒の理解度等、各学校における教育活動の検証を行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- ・ 学校教育支援員を活用した複数指導者での授業による個に応じたきめ細かな指導の充実
- ・ ICT端末を活用した家庭学習など主体的な学習習慣の定着に向けた取組の推進